

H20, 11.19. (水)

拒食症

＜アメリカ精神医学会の診断基準＞

- ① 体重が標準体重から15%減少する
 - ② 体重増加や肥満に強い恐怖（肥満恐怖）がある
 - ③ 体重や体形で過剰に自己評価する。低体重を認めない
 - ④ 月経が3カ月以上ない

- ①むちゃ食いを繰り返す。その際、制御できない感覚がある
- ②体重増加を防ぐため、嘔吐や下剤乱用、絶食、過剰な運動などを繰り返す
- ③体重や体形が自己評価を著しく左右する

過食症

過食症はその十倍といわれ青年期の千人に二、三人、人は思春期、指食症にならる。

「摂食障害」についての質問・相談を募集します。郵便、ファックス0802(291)5822で、メールkurashi@chugoku-np.co.jpで。掲載は匿名ですが、住所、名前、年齢、性別、連絡先を明記してください。

タカキベーカリー

なぜ摂食障害に。
きっかけはダイエット
に限らず、恋愛問題や友
人関係の悩みといった心
理的なストレスからやらせ
始め、やがてコントロ一
ルを失つてしまふことも
ある。性格的に完璧主義
のいわゆる「いい子」
らう。例えば食事は力口エ
リーパーを明示し、肥満恐怖
で思い込んでいるほど体
重が増えないのを分かつ
てもらう。対人関係療法
では、具体的な言葉のや
りとりから家族関係を見
直し、良い関係に促して
いく。患者同士で思いを
語り合うグループ療法も

ハビリ 運動療法柱に再発予防

心疾患の治療と、
臓リハビリテーション
療法を柱に禁煙やや
行われる。リハビリ
梗塞患者は、死亡率
結果も出ている。榎原
(京都)の伊東春樹(大
内科)は心臓リハバ
強調する。

「父親が厳しくした」など悪者探しは避け、回復にどうって何が大切な優先して考える。焦らず、長い目で対応を。父親のかかわりも大切。疲れている母親を支え、ぎくしゃくしがちな母親と患者の関係を安定させる役割もある。

一予防は。
いい意味で「いいかけん」になることを勧める。また最近は早期から思春期が始まるため、小学生の発症も少なくない。学校の健康診断などで体重が増えていなければ、早めに食生活のフォローをしてもらいたい。

の女性に多い摂食障害。家族とも
う、長期化するケースが目立つ。重
症は命を落とす場合もある。日本
精神学会評議員で広島大保健管理セン
ターノンノ・日本百合准教授に、摂食障害の症状
を聞いた。（上杉智己）

(上杉智己)

この病気 この治療

広島大保健管理
センター准教授
岡本百合さん



摄食障碍

などと不安を抱く。運動せずにいられず、かなりの長距離を歩いたり動き回ったりする患者もいる。家出や自傷行為など衝動的な行動に走るケースもある。本人は決して自己中心的になつてゐるわけではなく、内心は自分の行動をひどく責めてゐるのでつらい思いをしている。

一摂食障害とは。
食事のコントロールを失う病気。女性が九割を占める。食事を受けつけている。

一身体的症状は。
重度になると栄養障害

が陥りやすい。特に自信が摇らいでいる時は要注意。成績優秀だった子が、進学先で振るわず、やせることに達成感や満足感を見いだしてのめり込んでしまう事例がある。

過食で食べ物を大量に買い込んだり、嘔吐(おうと)でトイレを専有したりと、患者の行動に対し家族はいろいろなしがち。しかし患者自身、やめられなくて困っているので、「食べろ」「食べるな」と強制せず、責めないようにしたい。

「母親が過保護すぎた」「父親が厳しすぎた」など悪意者深くは誰か、回答すれば。

効果がある。
抗うつ薬や抗不安薬など薬物療法を用いる場合もある。